

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ごみゼロ作戦実施事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会、各種団体、市民	意図	環境美化意識の高い市民を増やし、ごみの散乱がない快適な生活環境を実現する。
事業内容	自治会、各種団体、市民の協力を得ながら春・秋ごみゼロ運動、江戸川クリーン大作戦を実施し、環境美化意識の高揚を図り、ごみの散乱がない快適な生活環境を実現する。			
事業開始から現在までの状況変化	美化運動の一環として、地域や河川の一斉清掃を行ってきたが、江戸川については、美化意識の浸透が深まり、当初と比べごみが減ってきている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		春・秋ごみゼロ運動参加人数	27,385	37,358	33,958	人	↓↓↓
	ごみ回収量	60.30	68.70	55.03	ト	↓↓↓	
	江戸川クリーン大作戦	0	0.80	4.23	m <sup>3</sup>	↓↓↓	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	ごみゼロ運動については、参加人数に対して回収されるごみ回収量の割合が減少の傾向にある。また、平成24年度からは回収されたごみの内、剪定枝・落葉・草の収集運搬については「ごみゼロ作戦用放射能対策事業」により収集運搬を行っている。ごみ回収量については剪定枝・落葉・草の回収量も含めている。江戸川クリーン大作戦については、回収量が減少の傾向にあったが25年度は粗大ごみの増加が全体量を押し上げた。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,908,679	4,490,924	5,140,919				
事業費(b)(円)	4,544,999	3,198,884	3,184,559				
うち一般財源	4,544,999	3,198,884	3,184,559				
職員給与費(c)(円)	1,363,680	1,292,040	1,956,360				
人役・職員(人)	0.18	0.18	0.28				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	江戸川クリーン作戦のあり方・参加団体への依頼方法の検討	取り組みの課題	ごみが少なくなっているにもかかわらず、参加団体が多い。国土交通省から配布される袋が1種類になって、分別の徹底する必要がある。
今年度(H25)に実施した取り組み	参加団体に事情を説明し、参加者を絞っていただくとともに、一部の団体については隔年で参加いただくこととした。	今後の改善計画	参加団体への依頼方法を工夫する。国土交通省に2種類（可燃用、不燃用）の袋を作成するように要望する。集積場所に可燃、不燃の表示をする。